

令和元年度 第1回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時 令和元年7月25日(木)
14:30～15:00

場 所 本庁舎4階 政策会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯と今後の推進について
- (2) 平成30年度成長・発展プランの達成状況について
- (3) 成長・発展プラン改定後の取組状況について
- (4) 岩槻駅周辺地区の都市機能強化に向けた検討について(リノベーションまちづくり)

4 閉会

平成30年度の「成長・発展プラン」の取り組み結果を踏まえ、今後の進め方及び新たな施策について、ご協議いただきたい。

- 平成30年度の「成長・発展プラン」の取組状況と目標値に対する達成状況について
- 岩槻駅周辺において、今年度から新たに展開する「リノベーションまちづくり」について

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯と今後の推進について

平成24年9月

成長・発展プラン 策定

○地下鉄延伸の「検討」段階から、地域の成長・発展の「実行」段階へ移行

○43方策でスタート

平成30年10月

成長・発展プラン 改定

○長期的視点に立った理念や目標等を明確にし、持続可能なまちづくりを推進する新プランに改定

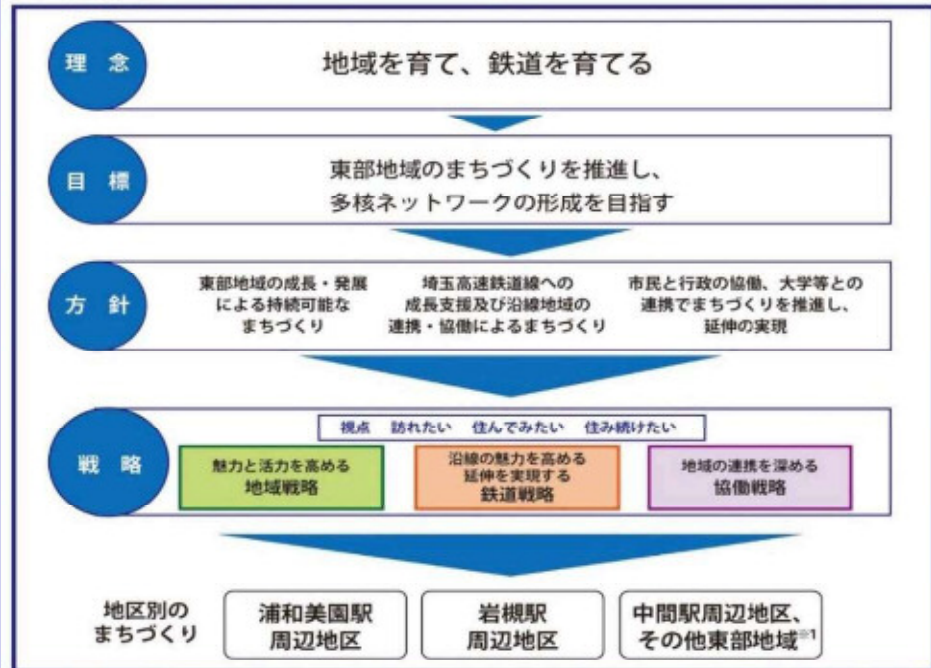
○7方策を浦和美園、岩槻、中間駅・その他東部地域の3地区で実施

平成30年10月～令和4年度

成長・発展プラン強化推進

成長・発展プラン概要

基本計画



行動計画



成長目標も新たに設定

浦和美園駅周辺地区、岩槻駅周辺地区の定住人口、交流人口を目標設定

(2) 平成30年度成長・発展プランの達成状況について

① 達成状況の整理

全体の約82%
が目標を達成
できている

【7方策62事業 達成状況一覧】

達成状況	事業数
計画を上回って達成	11事業
計画を概ね達成	40事業
計画推進中	9事業
計画未実施	2事業
計画廃止	0事業
合計	62事業

② 成長目標への効果

全体の約53%
の事業で効果
が発現した

【7方策62事業の効果分析】

効果発現状況	事業数
効果が発現した事業	33事業
今後効果が発現する事業	29事業
その他（未実施）	0事業
合計	62事業

※ここで言う「効果発現」とは、「成長・発展プランの成長目標」（定住・交流人口増）へ寄与したかどうかについての効果である

■ マネジメントシートサンプル

H30年度 令和元年5月28日作成(修正)

浦和美園～岩槻地域成長・発展プロジェクトマネジメントシート

①事業No. 1

②地区名 浦和美園駅周辺 岩槻駅周辺 中間駅周辺 その他駅前地域

③実施方兼名 地域の情報発信

④事業名 ブランドイメージ等の情報発信

⑤担当所管 東部地域・鉄道戦略部 ⑥担当部署 〇〇 ⑦TEL 629-1871

⑧事業概要

⑨図表

ウェブサイトを通じて地域の魅力を発信し、ブランド化を促進する。

⑩当該年度の事業内容

タイムリーな情報の発信を継続して行いつつ、「ウェブサイト更新計画案」(平成29年度成長・発展プラン)に基づき、内容・構成の見直しや新規コンテンツの検討など、新たな視点からウェブサイト全体の更新を行う。また、関係地域団体と効果的な情報発信のノウハウを提供できるよう、支援体制を整える。

ウェブサイト「希望を未来へつなぐ 浦和美園～岩槻ガイド」

⑪各年度の取組内容と目標

年度	2018	2019	2020	2021	2022	備考
当初計画	ウェブサイトの情報追加および更新					
最終計画	ウェブサイトの情報追加および更新					
実績	ウェブサイトの情報追加および更新					
数値目標	閲覧数 28,000件/年	閲覧数 29,000件/年	閲覧数 30,000件/年	閲覧数 31,000件/年	閲覧数 32,000件/年	
達成状況	閲覧数 27,000件/年					

⑫当該事業の成長・発展プラン成長目標への効果

関係する成長目標	地区	事業の実施による成長目標達成への効果(アウトカム)
定住人口増	浦和美園 岩槻	ウェブサイトやメディアを通じて地域の魅力を発信することにより、その魅力が広範に伝達され、ブランド化(住みたいくなるようなまちのイメージ)を促進し、定住人口の増加を図る。
交流人口増	浦和美園 岩槻	ウェブサイトやメディアを通じて地域の魅力を発信することにより、その魅力が広範に伝達され、ブランド化(訪れたいくなるようなまちのイメージ)を促進し、交流人口の増加を図る。
その他		

⑬当該年度の事業費 (単位:十円)

事業費	合計	財源内訳				備考
		一般財源	国庫補助金	市債	その他	
当初予算額	3,405	3,405	0	0	0	
当初決算額	2,014	2,014	0	0	0	
決算額	1,752	1,752	0	0	0	

⑭当該年度の取組結果

本年度以降の改修を見据え、本年度はウェブサイト刷新および更新が完了し、閲覧者にとって見やすいように情報の精査を行った。また、軽微なデザイン変更を行ない、目的別に検索しやすいうように改修した。

⑮評価

①の事業目標	○	理由	閲覧数は概ね達成できた。今年度末の改修で閲覧者にとって検索しやすいうちに改修して、今年度の閲覧数に改善が期待できる。
②の成長目標	A	理由	イベント情報からのサイト訪問が多く、交流人口に寄与している。ホームページも閲覧し地域の魅力を知ることで定住人口への間接的効果も期待できる。

⑯課題

スマートフォンとモバイル端末からの閲覧が増えているが、ウェブサイトはモバイル対応していないため、閲覧しづらい人たちがいると思われる。サイト内をスムーズに閲覧出来ない可能性がある。

⑰次年度への対応策

次年度はモバイル対応のための改修を予定しており、スマートフォンなどからの閲覧をしやすくする。また、人口減少傾向のある岩槻地域の定住人口の増加のため、定住促進コンテンツと特集記事を作成する予定である。

毎年度
実施

マネジメントシートでの担当所管による事業毎の
達成状況の確認と効果分析の実施

(2) 平成30年度成長・発展プランの達成状況について

■成長目標に対する達成状況

※各数値は概数

地区	目標指標	H29年度 (基準値)	目標値					基準値からの 増加分		
			H30年度 (2018年)	R1年度 (2019年)	R2年度 (2020年)	R3年度 (2021年)	R4年度 (2022年)			
浦和美園駅周辺	定住人口	(単位:人) 22,000 18,000 14,000 10,000 14,100	15,800 計画	16,300 実績	17,600	19,200	20,600	22,200	8.1千人 ※実績は各年度 9月時点	
	病院施設、教育施設、 商業・業務施設等	—	整備 →					5千人/日	5千人/日	
	交流人口 埼玉スタジアム 観戦者 (Jリーグ、代表戦)	1000 900 800 930千人/年 (H18~27平均)	944 千人/年	857 千人/年	958 千人/年	972 千人/年	986 千人/年	1,000 千人/年	70千人/年 (3千人/試合)	
	イベント開催	450 400 350 388千人/年 (H25~28平均)	400 千人/年	407 千人/年	412 千人/年	425 千人/年	437 千人/年	450 千人/年	62千人/年	
岩槻駅周辺	定住人口	(単位:人) 19,000 16,000 13,000 10,000 11,700	12,200	11,600	13,000	14,100	15,600	17,600	5.9千人 ※実績は各年度 9月時点	
	交流人口 ・岩槻人形博物館 ・にぎわい交流館 いわつき	—	整備 →					150 千人/年	150 千人/年	153千人/年
	イベント開催	500 480 460 477千人/年 (H25~28平均)	478 千人/年	491 千人/年	479 千人/年	480 千人/年	480 千人/年	480 千人/年		

地域の情報発信

地域

◎まちのブランド化に向けた情報発信（ウェブサイト）

- ・ウェブサイトによる埼玉高速鉄道沿線地域の情報発信
- ・スマホアプリ「美園子育てスタイルBambi」での情報発信



ホームページ

まちの基盤整備

地域

◎土地区画整理事業の推進

- ・土地区画整理事業を推進し、良好な市街地整備

◎子育て・教育施設の整備、検討

◎スマートホーム・コミュニティの普及



新設された保育園



スマートホーム・コミュニティ 美園北小学校

地域内外の移動確保

地域

◎多様な移動手段の提供

- ・シェア電動スクーターサービス「WIND」のサービス開始
- ・次世代（電動）バスの実証事業
- ・シェアサイクルの普及事業実証実験を実施



シェア電動スクーター



シェアサイクル

持続可能なまちづくりに向けた検討

地域 鉄道

◎地下鉄7号線延伸線沿線におけるまちづくりや、企業誘致に向けた検討

◎土地活用の促進



病院予定地

地域が連携・協働したまちづくり

協働

◎地域が連携したまちづくりの実施

- ・綾瀬川沿いの歩道整備



綾瀬川沿いの歩道



地域資源を活用した交流

地域 鉄道 協働

◎スポーツ・イベント等の実施



埼玉スタジアム2002を活用したスポーツイベント



浦和美園まつり & 花火大会



日光御成道 美園大門宿まつり

地下鉄7号線延伸実現に向けた検討

鉄道

◎地下鉄7号線延伸に向けた調査・検討

地域の情報発信

地域

- ◎歴史・文化資源のブランド化に向けた情報発信
- ・ターゲットを絞った観光情報誌等の作成



岩槻観光ガイド

観光情報誌「#iwatsuki」

まちの基盤整備

地域

- ◎土地区画整理事業の推進
 - ・土地区画整理事業を推進し、良好な市街地整備
- ◎観光案内サインの整備
- ◎岩槻歴史街道事業等の推進
 - ・岩槻歴史街道事業の推進、「さいたま市岩槻人形博物館」及び「にぎわい交流館いわつき」の整備



さいたま市岩槻人形博物館

区画整理地内の歩道の整備

地域資源を活用した交流

地域 鉄道 協働

- ◎観光機能及び観光資源の強化
- ◎歴史や文化にちなんだイベントの実施



ワークショップで試作したお土産



城下町岩槻鷹狩り行列

地下鉄7号線延伸実現に向けた検討

鉄道

- ◎地下鉄7号線延伸に向けた調査・検討

持続可能なまちづくりに向けた検討

地域 鉄道

- ◎都市機能の強化に向けた取組の検討及び推進
- ・岩槻駅西口駅前に集合住宅を建設中



建設中の集合住宅

地域が連携・協働したまちづくり

協働

◎地域が連携したまちづくりの実施

- ・商店会、人形組合、まちづくりNPO法人等が連携しまちづくりを実施

◎住民主体のイベントの創出



人間総合科学大学 ひな壇

久伊豆神社 キャンドルナイト



岩槻駅西口土地区画整理事業

岩槻駅

岩槻藩邊香館

岩槻歴史街道(裏小路)の整備

岩槻郷土資料館

時の鐘

さいたま市岩槻人形博物館
にぎわい交流館いわつき

整備

岩槻城址公園

東岩槻駅

地域内外の移動確保

地域

- ◎回遊性の向上など移動手段の具体的な検討
- ・乗合タクシー「らくらく号」の実証運行の実施

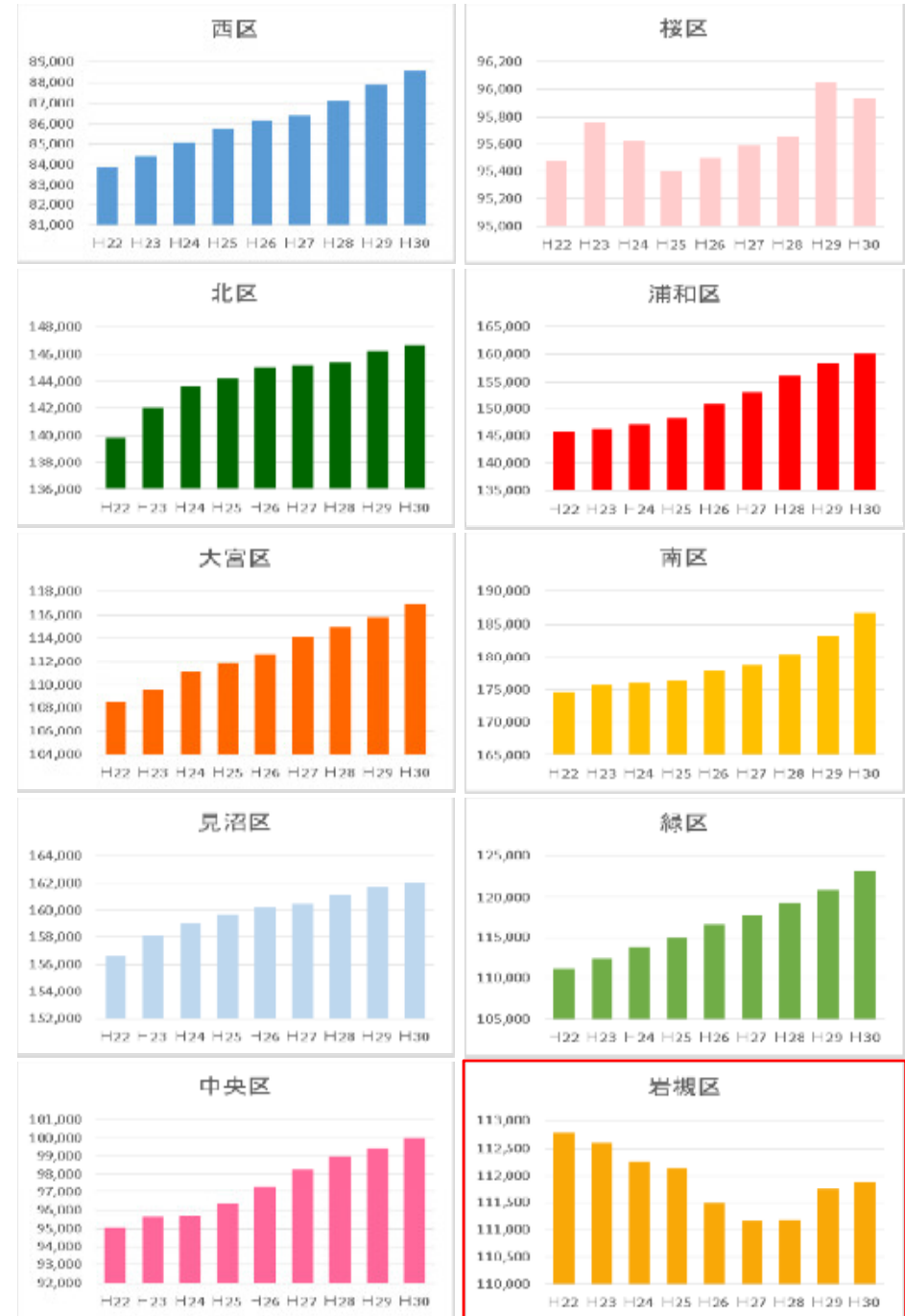
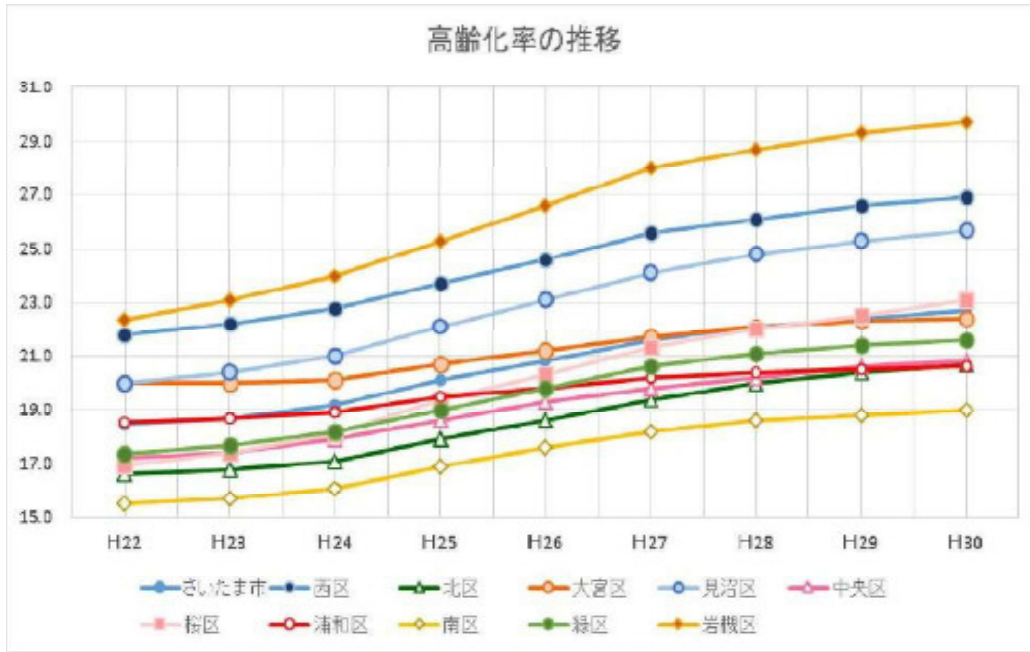


らくらく号

(4) 岩槻駅周辺地区の都市機能強化に向けた検討について(リノベーションまちづくり)【岩槻の現状】

人口: 112,153人 (R1.6.1現在)

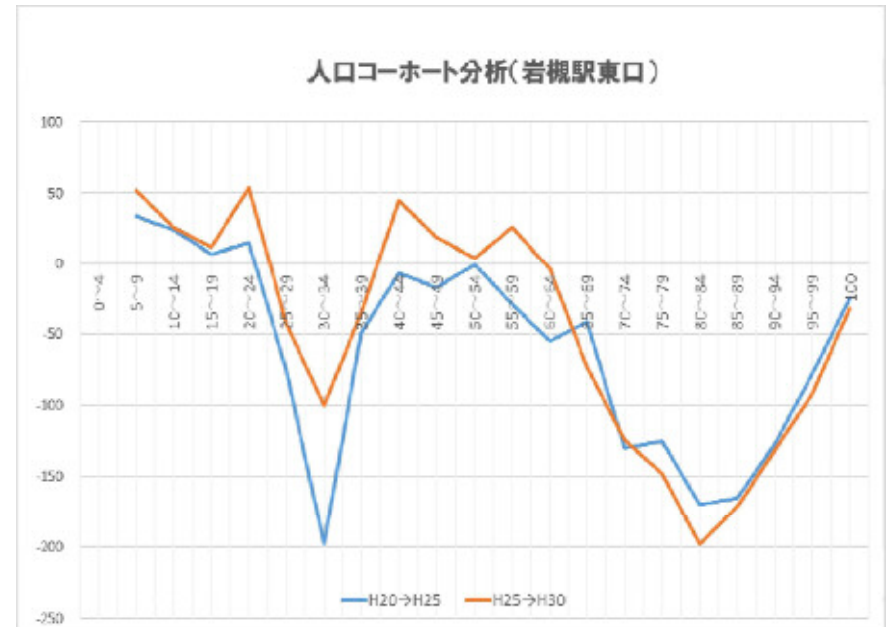
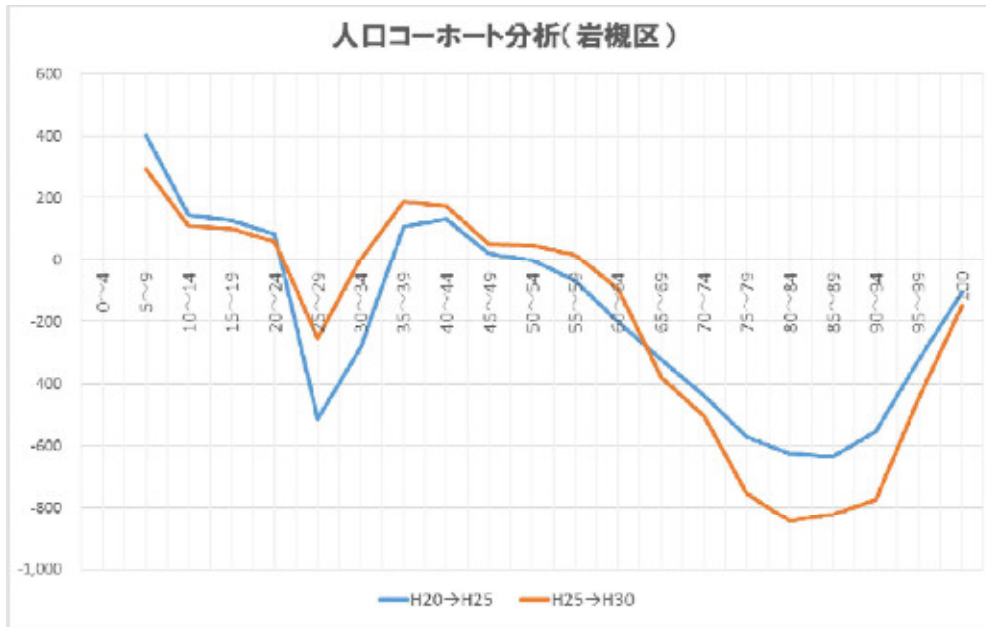
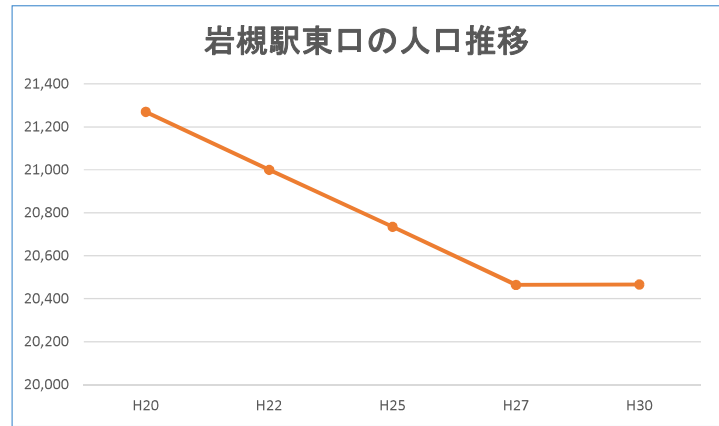
高齢化率は10区中1位
区全体の人口は増加傾向だが、
岩槻区美園東・岩槻駅西口で増加



(4) 岩槻駅周辺地区の都市機能強化に向けた検討について(リノベーションまちづくり)【岩槻の現状】

岩槻区の人口の推移

- ・区全体では若い世代の転出が目立つ
- ・岩槻駅東口は中でも人口減少・高齢化が進む(太田、加倉、城町、仲町、東町、本町、本丸)



岩槻駅東口周辺路線価の推移

平成6年



平成21年



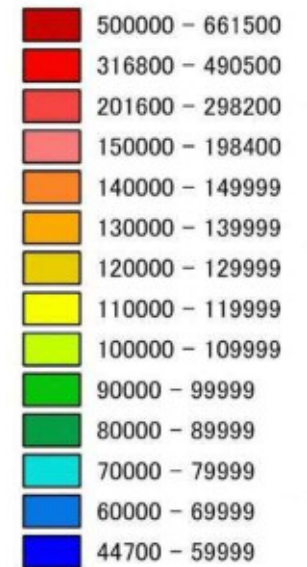
平成12年



平成30年



凡例 (円/㎡)



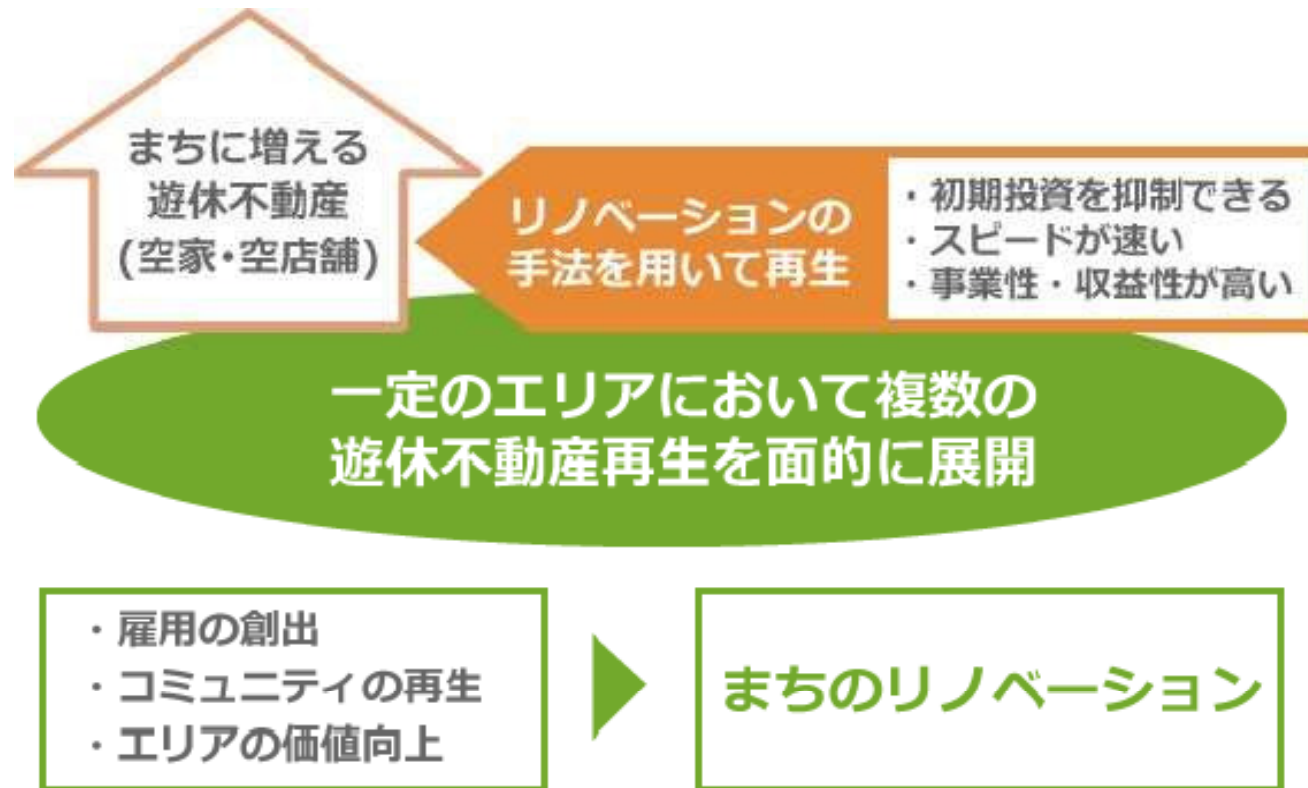
- 不動産価値の下落など、まちの魅力の低下
- 外食や買い物を楽しむといった消費を促す店舗が少ない
- 若年層の流出、人口減少等による後継者不足
- まちへの愛着の低下
- 郊外型大型商業施設の出店によるまちの中心部の空洞化
- 空き店舗の増加で、人の流れが途絶え営業中店舗にも悪影響
- 通勤、通学者が立ち寄る場所の不足により消費が区外に流出

→都市経営課題（まちの問題）を複合的に解決する手法として、リノベーションまちづくりを推進

【岩槻駅周辺のリノベーションまちづくりの考え方】

成長・発展プランに位置付けられた事業である「都市機能の強化や定住人口増に向けた検討」の一環として、岩槻駅周辺での都市課題を複合的に解決するために、リノベーションまちづくりを推進する。

この取り組みを通じて、成長・発展プランに掲げる成長目標である岩槻駅周辺の定住人口及び交流人口増加につなげる。



今までのまちづくりとは違う リノベーションまちづくりの4つの特徴！

1. 収益性が高く、スピードが速い

今あるものを活かし、新しい使い方をしてまちを変える

2. 民間主導の公民連携

リノベーションまちづくりは、民間主導でプロジェクトを興し、行政が支援する

3. 都市・地域経営課題を複合的に解決

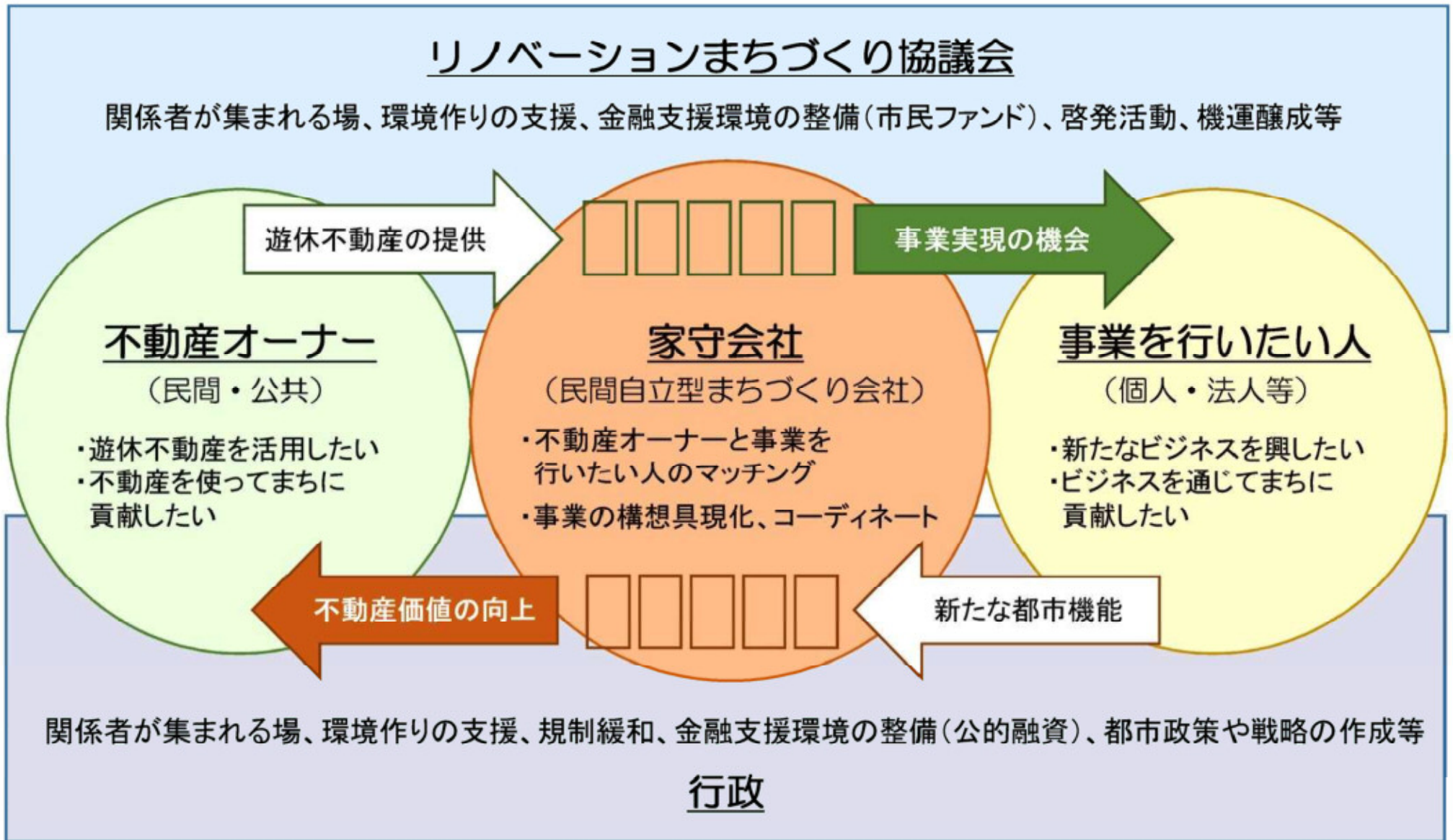
遊休不動産という空間資源と地域資源を活用して、民間自立型プロジェクトを興して地域を活性化させる

4. 補助金にできる限り頼らない

経済合理性を追求する

～そうかりノベーションまちづくり構想より～

(4) 岩槻駅周辺地区の都市機能強化に向けた検討について(リノベーションまちづくり)【リノベーションまちづくりの仕組み】



リノベーションまちづくりが目指す
まちの価値向上に向けた3つの目標

①今あるものを活かした新たなコンテンツによる岩槻特有のライフスタイルと
ワークスタイルの創出

岩槻の特性を生かした地場産業(人形文化やヨーロッパ野菜等)や、こだわりを持った店舗などの「今あるもの」と「リノベーションまちづくり」によって新たなコンテンツを生み出し、岩槻にしかないライフスタイルやワークスタイルを創出する。

②まちが交流の場となり、「ヒト・モノ・コト・バ」によるにぎわいの創出

人口減少や少子高齢化に対応したまちを目指し、岩槻のまちが交流の場となり、「ヒト・モノ・コト・バ」が有機的につながりあって相乗効果を高めつつ賑わいを創出していく。
また、多世代、新旧住民、働く人と住む人など、それぞれが交流できる「都市型コミュニティ」の形成を目指す。

③ふれあいとおもてなしによって「来たくなる」「住みたくなる」まちの創出

岩槻への来訪者や来街者が「観る」だけではなく、「食べる」や「買う」、「休む」などの体験を通してふれあいやおもてなしを感じて、「来たくなる」「また来たくなる」と思わせるまちとなり、移住者にとっては「住みたくなる」「住み続けたい」と思わせるまちを目指す。

「(仮称)岩槻リノベーションまちづくり構想検討委員会」

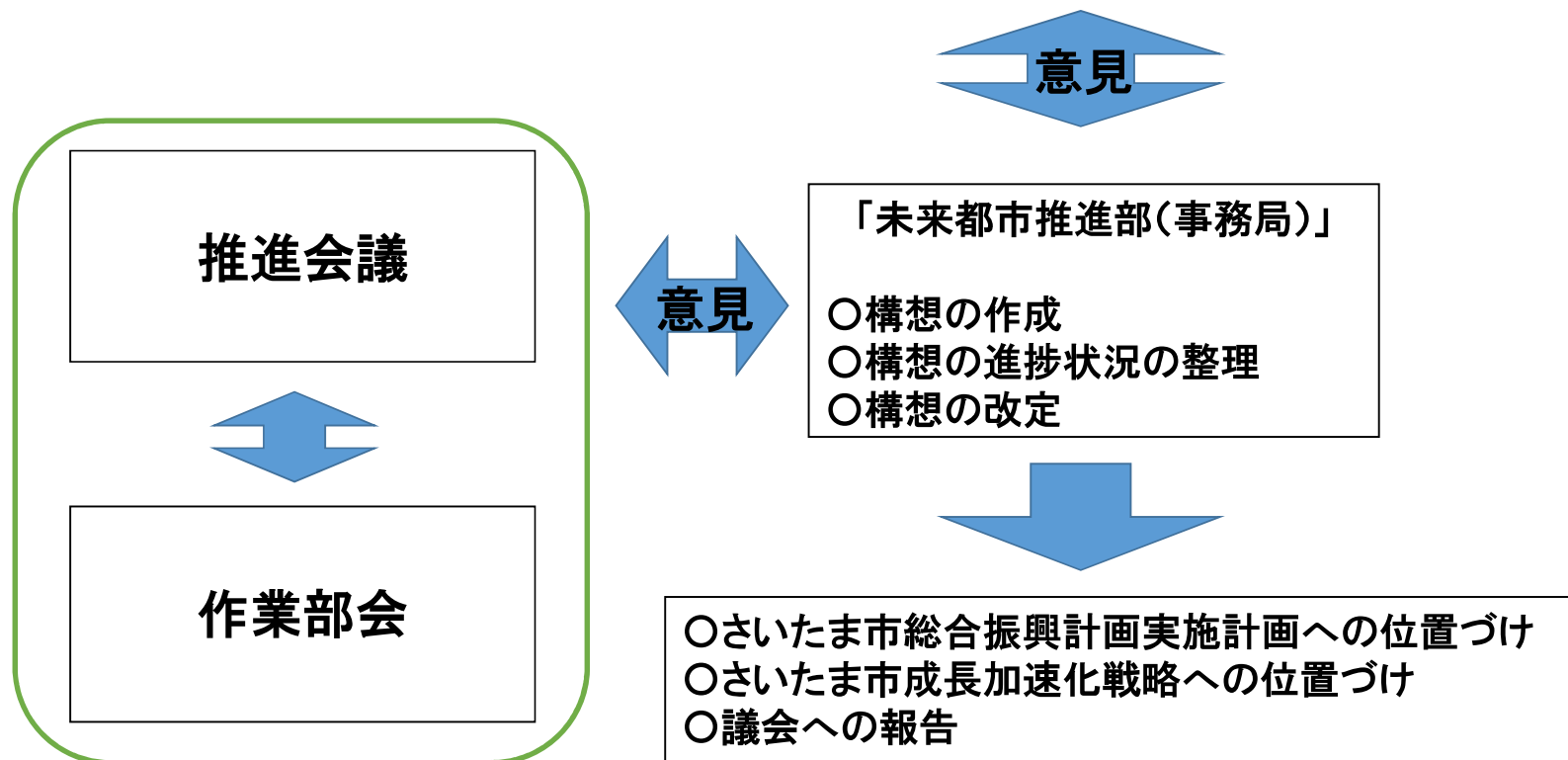
●組織構成

(各種地域組織、不動産オーナー、事業オーナー候補者(起業者)、有識者、関係機関、行政)

●役割

(仮称)岩槻リノベーションまちづくり構想(案)に対する意見聴取

リノベーションまちづくりの周知・啓発



	令和元年度				令和2年度			
	(4~6月)	(7~9月)	(10~12月)	(1~3月)	(4~6月)	(7~9月)	(10~12月)	(1~3月)
構想策定	(仮)構想策定検討委員会組織化調整 (仮)構想策定検討委員会開催 				★ 策定 			
	○ ○ 作業部会 推進会議				○ ○ 作業部会 推進会議		○ ○ 作業部会 推進会議	
周知・啓発	○ 庁内講演会	○ 地元講演会	○ 講演会		○ 講演会	○ 講演会		
			参加者募集 事前説明 事前準備等	トレジャー ハンティング				
起業						参加者募集 事前説明 事前準備等	リノベーション スクール	

令和元年度 第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1. 日 時：令和元年7月25日（木）14：30～15：00
2. 会 場：さいたま市役所 4階 政策会議室
3. 出席者：（座長）清水市長 （副座長）日野副市長、高橋副市長、阪口副市長
（委員）都市戦略本部長、財政局長、スポーツ文化局長、環境局長、経済局長、都市局長、建設局長、見沼区長、緑区長、岩槻区長

4. 欠席者：なし

5. 議事概要

（1）あいさつ（座長）

- ・浦和美園～岩槻地域の成長・発展については、「地域を育て、鉄道を育てる」という理念のもと、地域の魅力を高め、定住、交流人口の増加を図るため、着実に推進されているものと感じる。
- ・成長・発展プランに位置づけられた成長目標は、地下鉄7号線延伸における定量的評価である採算性及びB/Cにも関連し、延伸実現に影響するものである。
- ・本日は、これまでの成長・発展プランの効果を検証し、今後の進め方や岩槻駅周辺において新たに展開するリノベーションまちづくりについて議論を頂きたいと考えている。
- ・委員の皆様には活発な御発言をお願いするとともに、今後も引き続き成長目標の達成に向け、新規施策の立案や成長・発展プランの全庁的な推進にご協力いただきたい。

（2）議事に関する事務局説明

- (1)成長・発展プランのこれまでの経緯と今後の推進について
 - (2)平成30年度成長・発展プランの達成状況について
 - (3)成長・発展プラン改定後の取組状況について
- を一括して説明。

（3）議事に関する意見交換

（意見なし）

（4）浦和美園及び岩槻駅周辺地区における取組状況の報告

■浦和美園駅周辺地区について

- ・浦和東部第一地区と大門下野田地区については、市施行で事業を進めている。
平成29年2月には、UR都市機構で施行した2地区、約257haの区画整理事業

が完了している。

- ・UDCM i を拠点としたまちづくりとして、区画整理事業の保留地を使ったスマートホームコミュニティや、大門上池を中心とした、調整池や綾瀬川の有効活用による遊歩道や広場の整備。サッカー試合日におけるスタジアムアクセスの環境改善、良好なまちなみの誘導や魅力的な空間の創出等を行っている。
- ・現在、埼玉スタジアム2002で試合開催日に発生する渋滞の解消に向けて、シャトルバス優先社会実験を開催しており、来シーズンより定常的に取り組めるように研究中である。

■岩槻駅周辺地区について

- ・平成31年1月29日より、岩槻区の並木・加倉地区にて、乗り合いタクシーの実証運行を行っている。
- ・「岩槻人形博物館」の開館準備については、来年2月22日の開館に向け、建物内部の展示造作や開館記念の展示に向けた人形等資料の選定、別の場所で保管している資料の移し替え等を行っている。
- ・広報プロモーションについては、ノベルティの作成や、プレス発表、内覧会、オープニングセレモニー等、全体をコーディネートして実施していく準備を進めている。
- ・ロゴデザインについては、昨年作成したロゴデザインを活用し、「岩槻人形博物館」及び岩槻の人形文化の振興に努める。
- ・「にぎわい交流館いわつき」については、旧岩槻区役所跡地を人形のまちとして魅力ある文化を発信し、城下町のにぎわいや交流を生むまちづくりの拠点となる施設である。
- ・館内には、飲食・物販スペースや休憩スペースのほか、地域のイベント情報や、観光情報などを提供するコーナーを置き、岩槻の魅力を発信する拠点として自由に利用できる施設を目指している。また、多目的室やクラフトルーム、屋外共有スペースも設置し、地元の工芸の体験などのイベントでの利用も想定をしている。「岩槻人形博物館」と同じ来年2月22日の開館を目指し準備をしている。
- ・運営については、指定管理者制度を導入し、現在、指定管理者の選定を進めている。7月中に内部での選定を終え、9月議会において指定管理者の指定議案の上程を予定している。
- ・岩槻区の取り組みについては、今年の城下町岩槻鷹狩り行列において、さいたまクリテリウムに出場する5人の選手を招待したところ、来場者数も大幅に増えた。今後も、様々な工夫やアイデアをこらして、にぎわいを創出していきたい。
- ・今年の2月から3月の「人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」では、地域団体や大学が主体となり雛めぐりを盛り上げていただいた。引き続き大学等と協議を進めな

がら、大学の持つ資源や若い学生が持つ力をまちづくりに活かせるよう連携を強化していきたい。

(5) 議事に関する事務局説明

(4)岩槻駅周辺地区の都市機能強化に向けた検討について（リノベーションまちづくり）
を説明。

(6) 議事に関する意見交換

- ・リノベーションまちづくりの構想の検討委員会の中で事業オーナー候補者、起業家と書かれているが、現状としてどのような方を想定しているのか。
- ・現在、不動産オーナーや事業オーナー、起業者の候補者を対象として、どのような方がいるのか人探しをしており、メンバーに入っていただくよう交渉していきたいと考えている。また、できる限り地元の方を優先したいと思っているが、それだけでは厳しい場合は、外部の方についても検討したい。
- ・空き店舗がかなりあるということがわかったが、優先して取り組んでいくエリアや場所があるのか、どのように進めていく想定をしているのか。
- ・一定のエリアにおいて複数の遊休不動産再生を面的に開発することで、なるべく小さいエリアで進めていきたいと考えている。そのエリアについては、構想を策定しながら、実際にリノベーションする不動産と並行的に探していきたいと考えている。
- ・地元の方だけでやるのは、無理があるような気がする。エリアが面白く変化していくイメージを発信していかないといけないため、リノベーションまちづくりのノウハウを持っている事業者や、起業家に参画してもらう必要があると思う。
- ・建築系のクリエイターなどにもご協力をいただきながら進めていきたい。
- ・ビジネスとして成り立たせることも重要であるため、経営面のノウハウを持った事業者の協力も不可欠ではないかと思う。
- ・リノベーションまちづくりを地元で啓発していく必要があると思う。何度か講演会を予定しており、地元の方々にリノベーションまちづくりについて関心を持ってもらいたいと考えている。

(7) その他の意見交換

- ・遷喬館について、10年ほど前、駐輪場か駐車場の場所を日本庭園にする計画があったと思うが、進捗状況を教えてほしい。
- ・正直日本庭園の話は耳にはしていない状況である。裏小路のまちなみづくりを推進している場所になるため、都市局や教育委員会に確認する。

- ・「岩槻人形博物館」及び「にぎわい交流館いわつき」の開館に向けて、観光キャンペーンなど、開館日に合わせて多くのお客様に来ていただけるような催しなどは考えているのか。
- ・観光キャンペーンについては、インバウンドの呼び込みのため、5月に台湾へ営業に行った。事前に市内、市外に向けてPRをする予定もあるが、既に2月22日以降のツアーを台湾の旅行者などに実施してもらう準備が進んでいる。
- ・時の鐘などの観光拠点において、環境美化のおもてなしも進めてほしい。
- ・どのように来訪者に環境も含めたおもてなしをできるか、横の連携を図りながら市として対応したいと考えている。

(8) 座長より会議の総括

- 成長・発展プランの成長目標で示され定住人口・交流人口を達成することは、東部地域のまちづくりの推進及び地下鉄7号線延伸実現に大きく寄与するものである。
- 来年2月22日に岩槻人形博物館及びにぎわい交流館いわつきの開館、さらに、「東京2020大会」をひかえ、東部地域の成長・発展のまたとないチャンスを迎えている中、事業間の連携強化と新たな事業の掘り起こしを、関連する各局長・区長を中心に、全庁として積極的に取り組んでいただきたい。

【事務局】都市戦略本部 未来都市推進部